

年間聖句

「あなたがたは世の光である。」  
マタイによる福音書5章14節より

## 「新総主事就任のご挨拶」

神戸YMCA 総主事 小澤 昌甲

2025年度4月より、神戸YMCA総主事を拝命いたしました小澤 昌甲でございます。神戸市長田区にありました西神戸YMCAで、学生時代に学生ボランティア活動に携わり、企業に就職後、YMCAに奉職してからは外国人を対象にした日本語学校、学童保育、野外活動、青少年キャンプ等を担当しました。その最中、1995年に阪神・淡路大震災に遭遇し、神戸市長田区で復興支援活動に従事しました。全国から神戸YMCAに駆けつけてくださった5万人以上の方々と共に、地域の救援復興活動に従事し、ボランティアコーディネートを担当しました。

その後、西宮YMCA、西神戸(学園都市)YMCAで野外活動、キャンプ等のウェルネス事業、学童保育クラブ、発達支援事業に携わり、今年3月までの20年間は、主に認定こども園の責任者として運営を担ってまいりました。このたびの重責に気持ちを新たに、子どもたち、若者たちと共に育み、平和な地域社会の実現のために人に仕える人を育てることに、誠心誠意努めることをお約束して、新たな年度を始めてまいります。

さて、2025年は節目の年と言われます。阪神・淡路大震災から30年、また戦後80年の節目に、私たちは「共に生きること」の意義を問うことを忘れてはならないと改めて思います。日本の社会は人口減少、少子・高齢化が加速しています。担い手不足という言葉も地域からの声として聞くようになりました。

戦後、幸せを求めて生き、働き、子どもや若者が未来に希望を抱ける社会になるように願い、見事に経済的に成長した日本では、豊かに生活を送ることができていました。しかし、物質的に豊かになった現代においても、子育て不安や虐待、孤独、孤立に苦しむ人、いじめや差別に遭い心を痛める人、頻りに起こる災害や気候の温暖化に不安を覚える人、経済的、社会的格差に苛まれる人がいることも

事実です。

このような社会を目指して生きてきたのではなかったことでしょうか。成熟した社会の中で、今、日本は、経験したことのない環境や人口の変動に遭遇しています。科学技術や通信はますます進化し、生活が便利になり、世界の情報も非常にたやすく得ることができるようになりました。一方それは、人間が開発してきた科学技術に人間がコントロールされる時代になったとも言えます。

不確かな、複雑な時代においても柔軟な発想を持ち、困難の中にあっても未来を切り開くのは子どもや若者であることを信じ、希望を持って「共に生きる」平和な社会を築いていくこと。そのために、さまざまな方々と、自律的そして持続的な社会を目指して、共に歩んでいくことに努めていきたいと思えます。神様は「あなたがたは世の光である。」<マタイによる福音書5章14節>と示されています。そして、その前文には「あなたがたは地の塩である。」と示されています。子ども、若者が、そして今日出会う隣人が、世の光となることを願い、神様に祈り求め、一人ひとりが交わりを深めながら、歩みを進めていきましょう。主の平和が皆さんと共にありますように。



Pick up

ピンクシャツデーは、カナダで始まった「いじめ反対」の意思表示をする啓発活動で、YMCAでも毎年この活動に取り組んでいます。神戸キリスト教青年会国際委員会では、いじめは『違い』を受け入れられないことから生まれるものと考え、職員、ボランティアリーダー、ワイズメンに、『違い』と出会ったときに感じた気持ちを共有する機会を作ってもらうことを提案しました。

この取り組みを実施したある部門では、「思っていたことを話せてよかった」「『違い』は必ずあるが、その『違い』を否定せず思いやりや尊敬をもって関わりたい」という声がありました。

共に活動する仲間と話し合うことは、お互いのことやお互いの考え方などを知る機会にもなります。これからもYMCAに関わるすべての人と共に、日々の対話を大切にしながら、『違い』を乗り越えて活動していこうと思います。

### ピンクシャツデー

国際委員会



香櫨園放課後キッズルーム職員によるディスカッション

## 2025年度年間聖句

「あなたがたは世の光である。」  
マタイによる福音書5章14節より

ミッション委員会

2022年度から3年続けて「平和」について述べられている箇所を年間聖句に選んできました。2025年度の年間聖句として推薦いただいた箇所は「平和」や「希望」をキーワードとしたものが多く、委員の皆さまからは「YMCAらしさを感じる」という感想をいただきました。

選定の際には、YMCAで働く者たちの励みになるような、前向きになるようなものがあるという意見や、キリスト教に馴染みのない方や子どもたちなど、誰にでもわかりやすい聖句がよいという意見などが出ました。

そこで「あなたがたは」と読み手の一人ひとりに語りかけ、その一人ひとりが社会において道を示すべき存在の“世の光”である、としている上記の箇所を選びました。

2025年度は私たち一人ひとりが、そして目の前にいるすべての人たちが「平和」を造り出し「希望」を与える存在であることを認識し、言葉や行いを通じて愛や正義、誠実さを示していきたいと考えています。

## 第27回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会

大会担当職員 興津 貴大

2月8日(土)・9日(日)、西宮市のLife partner Arena～兵庫県立総合体育館～に於いて「第27回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会」を開催しました。今大会を主管した神戸YMCA、大阪YMCA、和歌山YMCAからメンバー・リーダー約200名が参加し、1泊2日を共にしながら交流を行いました。開催中は試合だけでなく、YMCAが大切にしている「4CD」(CARING(思いやり)・HONESTY(誠実さ)・RESPECT(尊敬心)・RESPONSIBILITY(責任感))プログラムを「言葉」に着目して実施しました。

メンバー・リーダーOBや元職員の方々から、たくさんの

方のご協力により、無事に終えることができました。例年同様、YMCAのつながりを強く感じられる大会となりました。また大会を通して、開催までの準備をサポートして下さった方、それぞれの部署で留守を守って下さった方など、多くの方々に支えていただいていることを、メンバーと共に改めて感じました。ありがとうございました。



## 西宮YMCA保育園

## 地域とつながり

少子高齢化が課題と言われて早30年以上が経ちました。たしかに平日の日中に街に出ても、出会う人々の数や年齢層、また公園などの様子も昔とは大きく光景が異なっており、それは確実に今の子どもたちにも影響を与えていると感じます。

「人口減少」の課題も、近年よく問われるようになりました。子どもたちが社会人になるまでに実際に出会っていく、すれ違っていく人々の数は確実に減っていますし、その人々の多様性も、現在ほどではないかもしれません。

この10年、特に過疎地域で「関係人口」の創出に向けての取り組みが進んでいます。YMCAはこの25年、「子育て支援・育ち支援」の取り組みを広げましたが、それを起点に、これからは保育園に「関係人口」を呼び込むような次のステップが必要になるのではないかと感じています。学童保育の子どもたちや地域の人々をつなぎ、多くの方が保育園に関わってくださるよう、歩みを強めていきたいと感じています。



近所の海岸で磯遊び

## 神戸市立たかとり児童館

## 放課後のおやつがっなぐ楽しい時間

放課後児童クラブの運営指針が1月に改正され、4月1日より運用が開始されます。今回の改正は昨年閣議決定した「こどもの居場所づくりに関する指針」の理念等を反映することを基本とし、関係法令等の改正や近年の放課後児童クラブを取り巻く動向等を踏まえて行われたものです。

今回の改正で、おやつの提供については“子ども同士や放課後児童支援員等とのコミュニケーションの機会となるため”という文言があり、これはおやつを楽しみながら食べるということが含まれているよう

に感じます。たかとり児童館の学童保育では、子どもたちが50,30,20,10に分けられたお菓子を計100まで選んで食べることができる仕組みにしています。子どもたちは自分が食べたいものを、駄菓子屋さんに行った感覚で選んでいます。特に当たり付きのものが人気で、「あーっ、またハズレや」「よっしゃ、当たった！ もう1個ちょうだい！」という声が響いています。一人ひとりの子どもたちが放課後の時間を楽しく過ごすことができるように、これからも工夫を重ねていきます。



## ウエルネスセンター学園都市

## 次は私がジュニアボランティアリーダー！

キッズダンスプログラムには高校生のジュニアボランティアリーダーがいます。

安藤芽衣さんと西野優那さんは、4月から高校生。「ジュニアボランティアリーダーになる！」と意気込む2人にインタビューしました。

### Q.あなたにとってキッズダンスとは？

安藤さん：1週間の中でいちばん楽しみな日！

西野さん：学校などで嫌なことがあっても忘れて楽しめる時間。

### Q.これからの目標は？

安藤さん：勉強もダンスも遊び(キラキラJK)も楽しみながら三刀流でがんばる！

西野さん：お世話になったリーダーに恩返しができるように、ダンスに関係する取り組みがしたい。Advanced Dance(※中学生以上のクラス)に

後輩が入ってくるので、自分の個性を最大限に生かしながらも、みんなとの動きをそろえたい。

### Q.お互いはどんな存在？(別々にこっそり聞きました)

安藤さん：ライバルでありダンスを支えあう仲間でもあり親友！

西野さん：ライバルでもあり仲間でもある大切な人。

安藤さん、西野さんは、高校受験に向けて勉強漬けの毎日でも欠かさずクラスに参加していました。ダンスが気分転換となったほか、受験に向けての励みやアドバイスを得る貴重な時間となっています。キッズダンスのみんなを引っ張るリーダーに成長していく2人が楽しみです。



センター：安藤さん



センター：西野さん

## 神戸YMCA学院専門学校 日本語学科

## 生活のための日本語学習

三宮会館には、「進学」「就職」が目的の日本語学習者を対象とした専門学校日本語学科の他に、生活のための日本語を勉強したい方のための日本語会話クラスがあります。このクラスには春・秋・冬の3ヶ月コースと夏の2週間の短期コースがあり、2024年度は延べ15か国・地域の外国人の方が授業を受けました。

さまざまな年齢、いろんな国の方が同じ教室で「こんにちは」「また明日」と積極的に日本語でコミュニケーションを取っています。授業では、日本語教員が絵を使

い、わかりやすく、楽しく教えていて、いつも笑い声が絶えません。また、3ヵ月間の学習の間には市内遠足や狂言鑑賞などの行事も取り入れ、言語学習だけでなく、実際に日本語を使う機会、日本文化の理解を深める機会を作っています。

日本にいながらも日本語ができず困っている外国人は皆さんの身近にもいらっしゃると思います。日本での生活に困らないよう、できるだけサポートを今後も続けていきたいと思っています。



## YYYフォーラム報告

## ～あの日から30年・ロールプレイングを通して～

「あの日」と言われて、皆さんは何を思い出しますか。「その日」が1月17日であれば、多くの方は「阪神・淡路大震災」を想起されるのではないのでしょうか。

1月18日(土)に「あれから30年。『みつかる。つながる。よくなっていく。』社会を目指して」と題し災害について考えるYYYフォーラムを、こうべまちづくり会館で行いました。三宮会館外での開催でしたが、YMCAの関係者のみならず一般の方もおられ(石巻から駆けつけてくださった方も!)、総勢44名の参加でした。

グループワークは、クジを引いて出た役(SNS好きの来日2ヵ月の10歳の外国人etc.)になりきり、さらに

さまざまな個性のある役がその場に集い、一つの家族という集合体を形成し、災害時を想定した場面でどう対処するかを考えるロールプレイングでした。また、自分たちの家族で困る状況を想定し、隣の家族はどう対処するのかを問うという問題提起もあり、趣向が凝らされたものでした。それゆえ、より多くの方に参加いただきたく、告知方法の再考が必要だと感じました(皆さんのアドバイス募集中!)

引き続き、「みつかる。つながる。よくなっていく。」となるイベントを考えていきますので、次回はぜひご参加ください。

ひでひら ゆうま  
YYYフォーラム実行委員 秀平 悠磨さん



## こくさいのまど

## ユースの国際交流と協働

神戸市とアメリカ・シアトル市は1957年に姉妹都市提携を結び、長年にわたり経済・文化・教育分野での交流を続けてきました。特に、神戸とシアトルを結ぶ貿易や、学生の交換留学プログラム、市民レベルでのイベントが行われてきました。

2024年度から、神戸YMCAは「神戸・シアトル姉妹都市協会」に法人会員として加わっています。教育や福祉活動を通じて地域社会の発展に貢献してき

た同協会は、青少年交流や文化交流プログラムを強化し、より深い国際理解の促進に寄与する方針で活動されています。

設立20周年を迎え、未来の世代に向けた新たな国際交流の場を創出することを目指す同協会と協働して、持続可能なユースの国際交流の機会を設け、グローバル人材の育成を推進していきたいと思



## 会員様向けの新しいシステム(Y-Link)について

神戸YMCAでは、会員様の利便性向上、より充実したサービス提供のために、2025年度夏の受付から新しいシステム(Y-Link)を導入いたします。

新システムの詳細および導入に伴う手続きについて、3月上旬頃にお知らせする予定でしたが、4月以降のご案内となります。いましばらくお待ちください。

YMCA STORY

あの日のこと

神戸キリスト教青年会名誉会員 宝塚ワイズメンズクラブ 青柳 美知子 さん

あの日のことを思い出すといつも胸がキュンとしてくる。

今年で25歳になる身体障がい者の私の孫が小学5年生のとき、YMCAの夏のキャンプで家島へ連れて行ってもらったときのことだ。

当時YMCAに車椅子の子をキャンプに連れていくシステムは無かったのに、祖母の思いを実現してくださった。スタッフやリーダーの皆さんの信じられないほどの理解と意気込みがあったからこそ想像できる。

キャンプの期間、トイレや食事、海での遊び等、他の子どもさんたちがいる中、どれだけ彼一人にお手間と愛情をかけてもらったことだろう。キャンプ中は、彼が経験したおみやげ話も、リーダーたちから「こんなことがあったよ」とも聞いたことはなかった。

でも、無事キャンプを終え、バスから降りてきた彼を連れて帰ろうとしたとき、ひさしぶりに会う両親をよそに、帰る子どもたちの世話をしているリーダーのところへ戻ると、彼がワーワーと泣き出したのだ。リーダーた

ちももっと一緒にいたいという、必死の思いだと感じた。家島でどんな素晴らしい経験をさせてもらったのだろう！障がい者の彼を、誠意を持って一生懸命お世話くださったことがすべて解った気がした。彼は普段、ほとんど自分の感情や意志を表せない子だったので、こちらもびっくりして胸が熱くなった。

彼は日頃、障がい者として区別された所にいることが多い。キャンプで皆さんと遊び、生活を共にさせてもらえたことが本当にうれしかったのだと感じた。

キャンプの後も、お世話になったリーダーたちが「翔ちゃんどうしてる？」とたびたび祖母に聞いてくださったことも幸せなことだった。家島でのキャンプは彼にも、また祖母にも一生の宝物になった。言葉で表せない感謝の気持ちは今でも込み上げてくる。

数年前も「One キャンプ」という、誰でも参加できるキャンプを企画してくださっていた。祖母としては親子で参加させたかったと悔やまれるばかりだ。

ワイズコーナー

私とYMCA

六甲部国際交流主査 北島 伸三 さん (神戸ポートワイズメンズクラブ)

私は3年前の退職を機に神戸ポートクラブに入会しました。入会のきっかけは、私の妻を含め40年以上の付き合いのある大野夫妻からの誘いです。入会2年目に会長を経験し、今年度は六甲部国際・交流事業主査に就きました。入会後は今まで経験したことのない体験や新しい出会い、踏み入れたことのない地方への訪問等で、70歳を前に新鮮な気持ちで活動させて頂いています。

次に私のYMCAとの活動を報告いたします。一番最近の活動は神戸大丸前での国際協力募金の街頭募金活動です。たどたどしい日本語で募金を呼びかけるYMCAの留学生の献身的な姿に心が熱くなりました。留学生のスピーチコンテストにも参加し、日本語で一生懸命にスピーチする姿に好感を持ちました。

また、昨年度はYMCA会館で開催される秋まつりの実行委員になり、YMCA職員の方々との企画・運営に携わりました。職員の秋まつりにかける思いと綿密な企画、当日の運営などを目の当たりにし大いに刺激を受けました。それ以外にもチャリティーラン、YYYフォーラム等、YMCAと協働して関わる活動を通して3年前には味わえなかった新たな気持ちで今を迎えています。



創立139周年記念礼拝

神戸YMCAの創設者の方々に思いをはせ、私たちの気持ちを一つにする機会になればと願っています。ぜひご参加ください。

日時 2025年5月10日(土) 10:00~11:00

会場 神戸YMCA三宮会館チャペル

神戸YMCA総会

神戸YMCAに関わる人たちが一堂に集まり、世代を超え、これからの歩みを確かめ、将来に向け語り合い、楽しく喜びがあふれる時とするを願い、開催いたします。内容につきましては、改めてご案内いたします。なお、総会終了後、交流プログラムを予定しております。

日時 2025年6月28日(土) 午前

場所 神戸YMCA三宮会館チャペル

問合せ 神戸YMCA本部事務局 TEL 078-241-7201 Eメール info@kobeymca.org

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同) (前号掲載以降~2/12まで)

Table with 2 columns: Donor Name and Amount/Type. Includes categories like 寄附, 子ども奨学金, 能登半島豪雨緊急支援募金, 国際協力募金, 学生生活支援募金.

この他にも、多数の寄附・募金をいただいております。感謝をもってご報告いたします。

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要とされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。(神戸YMCA中期計画VISION2030)

Table with 5 columns: Facility Name, Phone Number, and Address. Lists various YMCA centers and their contact information.

